平成 25 年 10 月 30 日

各位

会 社 名　株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
代表者氏名　代 表 取 締 役 社 長　小　澤　洋　介
（コード番号：７７７４　ＪＱ）
本店所在地　愛知県蒲郡市三谷北通 6 丁目 209 番地の 1
問合せ先　取締役経営管理部長　大　林　正　人
電話番号　０５３３－６６－２０２０（代表）

第 2 四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 4 月 30 日に公表しました平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）の業績予想と実績に差異が発生し、かつ、最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の通期業績予想を修正しましたのでお知らせいたします。

記

１．第 2 四半期累計期間　業績予想数値との差異（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想（A）	363	△578	△578	△580
今回発表実績（B）	419	△491	△494	△496
増減額（B－A）	56	87	84	84
増減率（%）	15.4%	―	―	―

２．通期　業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	960	△910	△923	△927
今回発表予想（B）	1,008	△1,081	△799	△803
増減額（B－A）	48	△171	124	124
増減率（%）	5.0%	―	―	―

３．ご参考：前期の実績（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第 2 四半期累計期間	242	△557	△550	△551
通期	563	△1,103	△1,073	△1,077

４．差異及び修正の理由

主要な差異及び修正の理由は、自家培養表皮ジェイス、自家培養軟骨ジャックに関する売上高の増減、及び営業外収益の計上であり、以下の状況に基づきます。

《自家培養表皮ジェイスの売上高修正理由》

第 2 四半期累計期間の売上高が、計画を上回ったため、通期売上高を 500 百万円から 616 百万円（前期比：160.8%）に修正しました。上期は、継続的な受注獲得に加え、出荷前製造中止率が低く推移したことが、売上高増加の主たる理由です。

《自家培養軟骨ジャックの売上高修正理由》

承認の条件であり、保険適用に関する留意事項でもある「実施医と実施施設に対する研修」の遂行に想定以上の時間がかかっており、多くの医療機関への販売開始時期がずれ込むと判断したため、通期売上高を 259 百万円から 200 百万円に修正しました。

《営業外収益の計上》

当社は、国をはじめとする公的機関からの委託事業及び助成事業に係る営業外収益を見込んでおります。平成 26 年 3 月期において、総額約 300 百万円の営業外収益を計上する見込みです。

自家培養角膜上皮の受託開発ならびにラボサイトシリーズの販売に関しては、ほぼ当初予算どおりの売上高を達成する見込みです。

なお、平成 26 年 3 月期の売上高予想の内訳は、次のとおりです。　　（単位：百万円）

事業セグメント	内訳	修正前売上高	修正後売上高
再生医療製品事業	自家培養表皮ジェイス	500	616
	自家培養軟骨ジャック	259	200
	自家培養角膜上皮（受託）	119	110
研究開発支援事業	ラボサイトシリーズ	81	81
合計		960	1,008

以上より、第 2 四半期累計期間での売上高は、当初予想よりも約 56 百万円増加し 419 百万円となりました。第 2 四半期累計期間の損益については、売上増加に加え、一部の経費の発生時期が 10 月以降にずれ込んだことにより当初予想を上回る、営業利益△491 百万円、経常利益△494 百万円、四半期純利益△496 百万円となりました。

通期での売上高は、当初予想よりも約 48 百万円増加し 1,008 百万円となる計画です。一方、自家培養軟骨ジャックの営業活動を積極的に推進するための費用の増加が見込まれます。上記の修正理由による売上高の増加、販売費及び一般管理費の増加、営業外収益の計上に伴い、営業利益△1,081 百万円、経常利益△799 百万円、当期純利益△803 百万円となる見込みです。

（業績予想に関する注意事項）

上記に記載しました予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化などにより上記予想数値と異なる場合があります。

以上